

安全データシート

ピーエムビー

整理番号 koeikagaku-7
作成日 2016年9月12日
改定日

1. 製品及び会社情報

製品名 ピーエムビー
会社名 全国農業協同組合連合会
担当部署 肥料農薬部
住所 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル 33F
電話番号 03-6271-8285
Fax 番号 03-5218-2536
電子メールアドレス zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡電話番号 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性		
健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器毒性(単回暴露) (中枢神経系)	区分 1
	(消化管)	区分 1

環境に対する有害性

※上記に記載の無い危険有害性は「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」に分類される。

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険
危険有害性情報: 皮膚刺激
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、消化管の障害

注意書き:

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意をよく読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく洗うこと。

【救急処置】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用すること。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露または暴露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断・手当を受けること。

<p>【保管】</p> <p>【廃棄】</p>	<p>皮膚刺激が生じた場合：医師の診断・手当を受けること。</p> <p>眼の刺激が続く場合：医師の診断・手当を受けること。</p> <p>汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には選択をすること。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
-------------------------	--

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物
 化学名：

成分	分子式	構造式	CAS 番号	官報公示整理番号	含有量
リン酸マグネシウム	非開示	非開示	—	非開示	非開示
ほう酸	非開示	非開示	非開示	非開示	非開示

4.応急措置

吸入した場合：	被災者を空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、必要に応じて人工呼吸や酸素吸入を行い、医師の処置を受ける。
皮膚に付着した場合：	汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ、製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら石鹸を使ってよく洗浄する。 外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。
目に入った場合：	清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。
飲み込んだ場合：	水で口の中を洗浄し、医師の処置を受ける。 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
応急措置をする者の保護：	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグル等の保護具を着用する。

5.火災時の措置

消化剤：	この製品自体は、燃焼しない。 当該物質を巻き込んだ周辺火災に適切な消火剤を使用する。
特有の危険有害性：	火災時には、一酸化炭素の他、有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
特有の消火方法：	消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 周辺の設備等の輻射熱による温度による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消化を行う者の保護：	消火活動は風上より行い、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項：	漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
環境に対する注意事項：	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
封じ込め及び浄化方法：	真空中で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。 下水溝、表流水、地下水に流してはいけない。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱いは、換気の良い場所で行う。
局所排気・全体換気：	取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 飛散した粉塵を吸い込まないようにする。 取扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取扱う。
安全取扱い注意事項：	みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。
接触回避：	強塩基から離しておく。 炭酸アルカリ、水酸化物は混合危険物質である。
衛生対策：	保護具は保護具点検表により定期的に点検する。 保護手袋および保護眼鏡・保護面を着用すること。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、
保管	
安全な保管条件：	酸性なので、アルカリ性の製品とは同一場所に貯蔵しないこと。

酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
 混触危険物質と一緒に保管しない。
 直射日光を避け、換気の良い冷暗所で密閉した容器に保管する。
 安全な容器包装材料： 密閉できる容器を使用する。

8.ばく露防止及び保護措置

設備対策： 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。
 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具： 防塵マスク、簡易防塵マスク
 手の保護具： 保護手袋
 眼の保護具： 保護眼鏡(ゴーグル型)
 皮膚及び身体の保護具： 保護服、保護長靴、保護前掛け

9.物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 白色粉末
 臭い： 無臭
 pH： 3.5±0.5(1%水溶液)
 融点・凝固点： データなし
 沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
 引火点： なし
 爆発範囲： 不燃性
 蒸気圧： データなし
 蒸気密度(空気=1)： データなし
 比重(密度)： データなし
 溶解度： データなし
 自然発火温度： 不燃性

10.安全性及び反応性

安定性： 通常の条件下では安定。
 危険有害反応可能性： 混触危険性等を特記すべき反応性なし。
 避けるべき条件： 屋外や高温多湿な場所での保管。
 危険有害な分解生成物： ホウ素酸化物

11.有害性情報

急性毒性
 経口： 分類できない
 経皮： 分類できない
 吸入-蒸気： 分類できない
 吸入-粉じん及びミスと： 分類できない
 皮膚腐食性・刺激性： 区分2
 眼に対する重篤な損傷
 /刺激性： 区分2A
 皮膚感作性： 分類できない
 呼吸器感作性： 分類できない
 生殖細胞変異原生： 分類できない
 発がん性： 分類できない
 生殖毒性： 区分1B
 特定標的臓器毒性
 単回暴露： 区分1(中枢神経系・消化管)
 反復暴露： 分類できない
 呼吸性呼吸器有害性： 分類できない

12.環境影響情報

水生環境急性有害性： 分類できない
 水生環境慢性有害性： 分類できない
 オゾン層への有害性： 分類できない

13.廃棄上の注意

残余廃棄物： 都道府県知事の許可の受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装： 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制： 該当法令なし
国内規制： 該当法令なし
輸送の特定の安全対策
及び条件： 直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れ等のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法： 非該当
毒物及び劇物取締法： 非該当
化学物質排出把握管理促進法： 第1種指定化学物質 ほう素化合物

16. その他の情報

本品には重金属類及び毒物等の有害物質は含まれていません。危険性有害性の情報は記載日付時点において正確であると信じて提供されるものではありますが、必ずしも充分ではないので取扱いに際しては十分に注意してください。この SDS は基本的な取扱いについて記述した文章であって安全保障書を意図したものではありません。

本 SDS は、下記晃栄化学工業株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	晃栄化学工業株式会社
住所	名古屋市中区錦一丁目7番34号
電話番号	052-211-4451
FAX 番号	052-211-4579
推奨用途	肥料